

ドナウ の 四季

2016年・秋季号・No.32

人生初の手術	盛田 常夫	1
ハンガリーの国民投票について	盛田 常夫	2
ハンガリー人から見た日本人の集団生活の面白さ	シュトラウス・ヤンカ	5
2017年小林コンサート日程		6
国立フィル日本公演		7
第1回ダヌビア・タレンツ国際音楽コンクール	桑名 一恵	8
フジコ・ヘミング — ヨーロッパツアー・ハンガリー公演	桑名 一恵	10
境界から見た風景 (1)	プスタ・ベアータ	12
ブダペスト日本人学校	野村 遥、児玉 一晃	14
みどりの丘補習校		15
お知らせ		16

人生初の手術

盛田 常夫

えなければならぬから、短期間に両目の手術ができる、不便な時間を短縮できる。

なお、白内障が進行している場合には、水晶体が堅くなっているため、レーザーで事前に水晶体を破壊し、それから超音波による吸引をかけると、手術の後遺症のリスクが小さくなる。これがフェイコ・フレチョップ法(赤星方式)で、進行した白内障ではこの方式が採用される。

さて、実際の手術だが、1時間ほどかけて、何種類もの点眼を受けた。手術時間そのものは15分程度で痛みはまったくないが、手術中の一瞬、視野が橙色になる。水晶体が取り除かれた瞬間で、そのまま何もしなければ、永遠に視力は失われる。手術が終わっても、瞳孔を開く点眼などで焦点がぼけている。タクシーで家に戻り、それから6～7時間後によく視力が回復した。

手術前に、埋め込むレンズの種類を決める必要がある。近視だったこれまでのように、手許は眼鏡なしで遠方を見るときに眼鏡をかけるか、それとも遠方を眼鏡なしで手許を見るときに眼鏡をかけるかを選択しなければならない。多焦点レンズも存在するが、今まで慣れた方法、つまり近眼を想定したレンズを選択する方が、手術後の適応が易しい。私は最初から、これを選択する旨を医師に伝え、各種検査で眼内レンズの度数を決めてもらった。

今、手術から3ヶ月が経過した。昔の眼鏡を取り出し、一番合う眼鏡を使って運転している。きわめて視界良好である。ただ、太陽光が強いと、まぶしさが強く感じられるので、日中の運転でサングラスが欠かせない。書籍を再び眼鏡なしで読めるようになったが、また疲れる感じがする。適応にもう少し時間が必要なようだ。

巷では白内障手術とレーシック手術が混同されているが、この二つはまったく異なるものである。ミクロンの厚みをもつ6層からなる角膜と凸レンズにあたる水晶体が、眼のレンズシステムを構成しているが、角膜を削って焦点を調整するのがレーシック手術、水晶体を人工レンズに取り換えるのが白内障手術である。

(もりた・つねお 「ドナウの四季」編集長)

卒業して、NEC-9800シリーズのパソコンにワープロソフトを載せたものを使っていた。PC本体とモニター、プリンターをハンガリーへ持参した。当時、大使館にはワープロはもちろん、FAXすらなかった。専門調査員としての報告や雑誌原稿、著書『ハンガリー改革史』(日本評論社、1990年)は、大使館勤務時代にNEC-9800から打ち出された。

さて、肝心の白内障手術だが、今日では眼のレンズにあたる水晶体を取り出し、そこへ人工レンズを入れる手術である。要するに、天然のレンズを破壊して取り出し、アクリル製のレンズを入れる。失敗すれば失明する。

白内障は古くから知られた眼の病気で、18世紀には水晶体の濁った部分を針で突いて落とし込む手術(墜下法)が試みられた。麻酔なしの手術で、その成功率はきわめて低かった。現代のように眼内レンズを入れ込む手術が最初に行われたのが1949年で、墜下法からこの手術に到達するまで200年を要した。しかし、この眼内レンズの手術が一般に普及するまでに、さらに20年の歳月を要した。レンズの性能(生体適合)やレンズを入れる技術の向上が必要だったのである。

手術の切り口が大きいと、乱視の後遺症が残る。この手術を革命的に進歩させた技術が、超音波で水晶体を破壊し吸引する技術(超音波乳化吸引)である。アメリカの医師によって開発されたこの手法によって、切り口を小さくし、かつ水晶体を簡単に取り出せるようになった。さらに、ここ20年の間に人工レンズの技術が大きく発展し、直径6mmのレンズを3mm程度に折りたたむ技術が開発された。水晶体を取り除いた切り口から、この折りたたんだレンズを挿入し、挿入後にレンズが開くのである。

この超音波技術とレンズの改良によって、現在は3mm程度の切り口だけで手術が可能になり、手術時間だけでなく、傷口の自然治癒の時間が大幅に短縮された。これ以前は切り口が10mm程度と大きく、両目の手術にはほぼ1ヶ月の時間を要したが、今では連続して手術することが可能になった。私の場合は、左目を月曜日、右目を水曜日という間隔で手術を受けた。感染を防ぐために、1週間は入浴を控

温熱治療のパラダイムを転換する

温熱治療を根本から見直し、
あるべき手法を示した著書。

曖昧な日常知を科学によって解明した画期的な著作。

オンコサーミア治療器は世界25カ国で利用。
ドイツでは百か所以上のクリニックで、
韓国の主要な大学病院に設置。

好評発売中。定価3200円+税。
大手書店、Amazonにて購入可。

- 第1章 ハイパーサーミアの歴史と評価
 - 1.1 ハイパーサーミアとは何か
 - 1.2 ハイパーサーミアの曖昧さと課題
 - 1.3 ハイパーサーミアの歴史的概観
 - 1.4 腫瘍治療のハイパーサーミア
- 第2章 ハイパーサーミアの物理学
 - 2.1 電磁気学の基礎概念
 - (1) 電磁気現象
 - (2) 電場と磁場
 - (3) キャパシタ
 - (4) 位相シフト
 - (5) インピーダンス
 - (6) 電磁波
 - 2.2 バイオ電磁気学
 - (1) 電磁波スペクトル
 - (2) バイオインピーダンス
 - 2.3 「非熱」効果
 - (1) 非温度依存 (NTD) 効果
 - (2) 電磁場におけるNTD効果
 - (3) 電磁気による目標選択
 - (4) 電磁気と生体システム
- 第3章 ハイパーサーミアの生理学
 - 3.1 生体におけるエネルギー、熱、温度
 - 3.2 生体における温度制御
 - 3.3 生体の加熱と体温
 - 3.4 加熱による温度の分布
 - 3.5 全身加熱と局所加熱の本質的な差異
 - 3.6 加熱と冷却: リスクとその回避
 - 3.7 温度測定と熱積算量 (ドーズ)

腫瘍温熱療法—オンコサーミア

ハイパーサーミアのパラダイム転換— 医術から医学へ
サース・アンドラシュ / 盛田常夫 [著]



日本評論社

- 第4章 腫瘍温熱療法
 - 4.1 腫瘍温熱治療の基本概念
 - 4.2 ハイパーサーミアの手法
 - 4.3 熱の作用と併用効果
 - (1) 熱と血流
 - (2) ハイパーサーミアの併用効果
 - 4.4 ハイパーサーミアの熱生成
 - (1) アンテナ放射
 - (2) 磁場 (コイル)
 - (3) 容量性カップリング
 - (4) 伝導加熱
 - 4.5 ハイパーサーミア治療が抱える問題
- 第5章 オンコサーミアの理論と方法
 - 5.1 電場の利用
 - 5.2 細胞燃焼
 - 5.3 腫瘍治療における細胞加熱
 - 5.4 ミクロスコピック加熱
 - 5.5 集束化の原理
 - 5.6 温度の役割
 - 5.7 安全性
 - 5.8 積算量 (ドーズ)
 - 5.9 臨床事例
- 第6章 自然療法としてのオンコサーミア
 - 6.1 ホメオスタシスの復位
 - 6.2 細胞の自然死の促進
 - 6.3 細胞転移の阻止
 - 6.4 転移がん細胞に作用

EUの「難民強制配分」への賛意を問う ハンガリーの国民投票について

盛田 常夫

結果

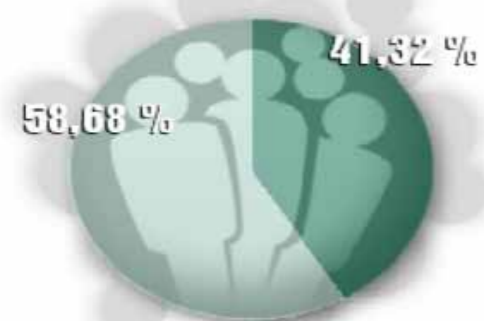
10月2日に行われた「難民の強制割当」に反対するハンガリーの国民投票は、投票率40.41%と50%に満たず、不成立となった。オルバン政権は国民投票が成立し、かつ圧倒的な多数でEUの「強制割当」にたいする反対が示されれば、大きな対EU交渉力を得ると考えていたが、その目論見は外れてしまった。政権政党が全力を上げて臨んだ国民投票が成立しなかったことは、対外的にオルバン政権の「失敗」を印象づけることになった。

他方、国民投票が成立しなかったとはいえ、「難民の強制割当」への反対が有権者（絶対数）の4割（39.68%、反対票率98.32%）を占めた事実はそれなりに重い。賛成数は有権者のわずか0.006

%（賛成票率1.64%）である。つまり、対内的に見ると、現政権は有権者の絶対数で4割近い支持率をもっている。もちろん、今回の国民投票に賛意を投じた人すべてが政権政党の支持者ではないが、その8~9割が支持者と考えて間違いない。これは現政権の支持基盤が盤石で、いつ総選挙を行っても、現行の小選挙区制の下では、三分の二議席を獲得できる状況にあることを示している。したがって、国民投票不成立が、オルバン政権崩壊の始まりと見る見方は正しくない。

いずれにせよ、対EU政策において、オルバン政権は頑なな拒否政策を貫くことが難しくなったことは事実で、今後、一定の政策変更や戦術変更が迫られる。

■ **Érvényes szavazat**
■ **Érvénytelen, nem szavazott**



■ **Igen**
■ **Nem**



Népszavazás összesen:

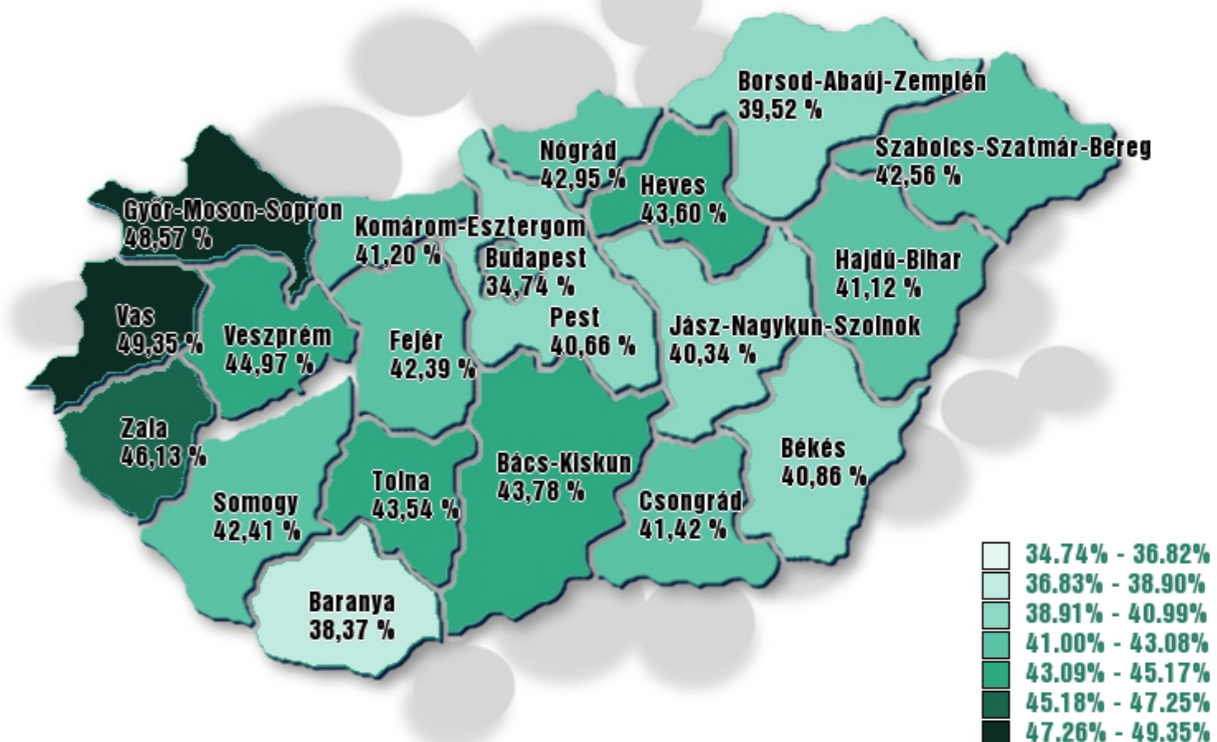
Érvényesség

Választópolgárok száma	Érvényes szavazat
8 272 625	3 417 982 41,32 %

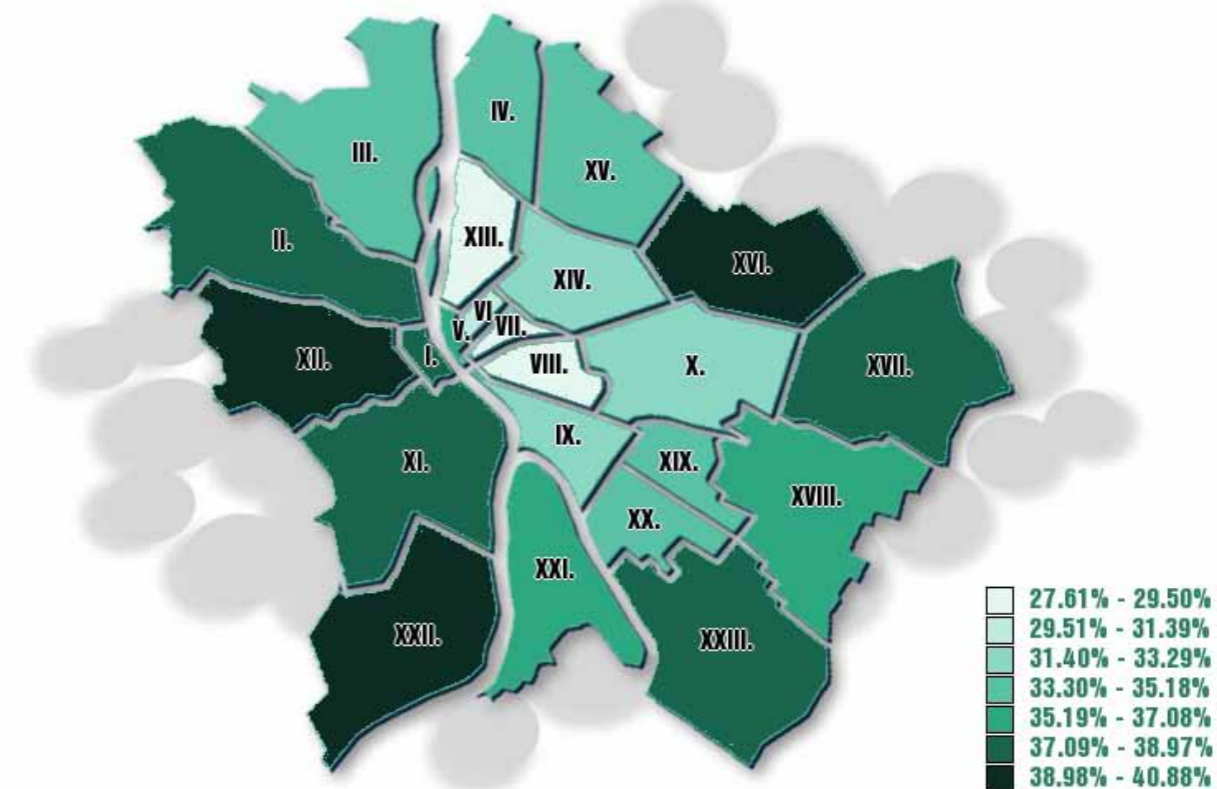
Eredmény

IGEN szavazat	NEM szavazat
56 157 1,64 %	3 361 825 98,36 %

図の読み方：有権者総数8 272 625人、有効投票数3 417 982人（41.32%）
投票結果：EUの難民政策に賛成 56 157人（賛成票率1.64%）
EUの難民政策に反対3 361 825人（反対票率98.35%）



県別の投票率（過半数を超えた県はないが、難民収容所がある西部の県で、投票率が高くなっている）。



ブダペスト市内の投票率は低く、とくに都心部は3割前後。

投票率が低かった原因

今時の国民投票はおよそ半年前に決定され、政府は周到な準備を行い、多額の費用をかけて、キャンペーンを展開してきた。にもかかわらず、政権政党支持者を越えて、国民の関心が広がることがなかった。その理由はいろいろ考えられる。

(1) ハンガリーが昨年9月に国境管理を厳しくして以降、ハンガリーへの難民・移民の流入者が激減し、社会的な危機意識が薄れ、難民問題への関心もまた薄れたことが上げられる。

(2) 国民投票が決められたのは半年前で、この間、EUの難民政策自体が変わり、政策判断を理解することが難しくなった。当初は昨年9月にEUの司法・内務理事会が決めた12万人を対象にした難民の割当政策にたいする反対が対象だったが、今年5月に欧州委員会は恒久的な難民受入の方針を打ち出した。ともに、強制割当という性格は変わらないが、前者は一時的な割当政策であり、後者は恒久的な割当政策である。

国民投票の対象となる政策自体が、一般国民にとって分かりにくいものだった。いったい、具体的に何に反対するのかについて、一般国民は十分な知識を有していなかった。それは国際メディアについても同じで、日本のメディアの報道においても、ハンガリー政府が反対しているEUの難民政策について十分に理解した上で報道しているとは思われなかった。

(3) 国民投票の国内キャンペーンの時間が長すぎて間延びしたこと、さらに政権政党を支持する有権者以外の国民には、現政権の政治家の腐敗への失望から政治的なアパシーが広がっていることが上げられる。社会党政権の腐敗に懲りた有権者は現政権に期待したが、政権政党の政治家や家族、周辺の起業家が国家補助金を優先的に受領し、手厚い保護を受けていることが日々暴露され、社会党もFIDESZ(現政権党)も、権力を握った政党は「同じ穴の貉」という政治そのものへの不信感が蔓延している。

(4) 政権政党はもちろん、たんに対EU政

策として国民投票を実施したのではない。純粋にEU政策への対応を問うことのみを目標にすれば、もっと有権者を動員できただろうが、政府が国内宣伝を強めれば強めるほど、政権政党の国内キャンペーンとしか受け取られなくなった。その結果、EUの難民政策に反対でも、国民投票に参加し、政権政党をアシストすることを由(よし)としない有権者が多数いたと考えられる。その結果、投票行為を行ったのは、ほとんどが政権政党の支持者だけということになった。

EUの難民政策の問題

この5月に欧州委員会が提案した恒久的な難民強制割当政策は問題が多い。この政策は昨年9月に決定した強制割当が機能していないことから、新たな強制力をもつ政策として考案されたものだが、GDPと人口をベースに自動的に難民を割り当てるという機械的なメカニズムを提案したものだ。これはEU官僚の作文で、ここには何故昨年9月の割当政策が機能しないのかの分析がない。欧州委員会も、難民政策を包括的に検討する実質的な議論を避けている。

欧州委員会に提案された新たな難民政策の最大の問題は、「難民」と「移民」の区別を時事上、放棄していることだ。「難民」は国際法上、適切な保護の対象になるが、「移民」は当該国の法規制に従って、その受入れが決められる対象である。しかし、欧州委員会提案では「難民」と「移民」を区別することなく、EU域内に流入した人々を「難民」と一括している。それは入国管理が機能せず、区別が不可能だからである。しかし、身元不詳の人々を無条件に引き受けるシステムが機能するはずがない。昨年9月に決定された割当政策が機能しない理由はここにある。しかし、欧州委員会への提案はこういう問題をスルーして、とにかくEU域内に流入した人々を域内で自動的に分け合うシステムを作ることを目的としている。

EU官僚が「難民」と「移民」を区別しないのは、たんにそれが難しいというだけが理

由ではない。EU官僚やEUの大国の政治家多数は、ジョージ・ソロスの政策提言に同調して、EUへの労働力として「難民・移民」を積極的に受け入れるべきだという主張を展開している。労働力であれば、「難民」も「移民」も大差ない。それを区別することに意味はなく、一括して受け入れれば良いというのがソロスの提案であり、EU官僚と大国政治家の基本姿勢なのである。

しかし、すでに百年以上の歴史の中で、旧植民地から移民を受け入れてきた国々やゲストワーカーを多数受け入れているドイツと、それ以外の中・東欧諸国では、移民への考え方が基本的に異なっている。にもかかわらず欧州委員会が上から強制的に、大量の異民族の移民を受け入れた歴史のない国々に、受け入れるべきだと強制することは間違っている。

この点ではハンガリー政府もまた、「難民」と「移民」を区別せずに、議論を展開している。「難民」受入れは国際的な義務として、それを果たすことを明確にした上で、「難民」認定と「難民」の取り扱いを厳格化すべきである。「難民」か「移民」かの区別が付かない者は「難民受入れ」対象にならないこと、それと同時に、「移民」の認定はハンガリーの国内法にもとづいて行うことを明言すれば良い。

EUの「難民」自動割当制度が決定されると、事実上の「移民」の流入が加速化する恐れがある。無制限に、来る者は拒まずという訳にはいかない。すでにその政策はドイツで審判が下されている。だから、割当制度を議論する前に、EU国境管理の管理や「難民」認定の厳格化を明確にしないと、この問題は今後、さらに尾を引く問題になり、やがてEUの存立危機をもたらすリスクを抱えている。

(もりた・つねお)

ハンガリー人から見た日本人の集団生活の面白さ

Strausz Janka

私は現在、Eötvös Loránd大学の博士課程で日本人の集団主義・集団生活に関する研究に挑戦しています。

数年前に日本へ留学した時、日本社会全体を動かす様々な共同体の働きが初めて分かりました。例えば、留学先の金沢大学の「日本文化体験」という授業で、何人かの留学生と一緒に地元の小学校に行って、小学生達に自分の国についての紹介をさ



せていただきました。昼ごはんの時間には、教室の小さな机の前に座りながら、ハンガリーでは考えられないような日本式の給食を体験できました。小学生の学年はもう思い出せませんが、皆まだ小さかったのにもかかわらず、自分達の教室からテキパキと立派な小食堂を作り上げました。その作業の中で、子供たちが厨房から自分が担当している鍋とかお皿とかを持って来たり、行列に並んでいるクラスメートに丁寧に昼ご飯を配ったりしていたところを見て、びっくりしました。同様に、給食後の教室の片付けにおいても、放課後のお掃除においても、そのクラスの全員が協力して大変楽しそうに頑張っていました。

それに対して、ハンガリーでは小さな団体のメンバーの協力が必要な場合、物事がそんなにスムーズに行かないような気がします。日本では大人だけではなく、子供たちさえコミュニティの大切さを意識しながら、一つの目的のために力を集められるなんて、私にとっては想像を超えた発見でした。

この思い出は現在の研究のきっかけになったと言えますが、博士論文ではハンガリーに住んでいる日本人のコミュニティと団体生活に目を向けようと思いました。日本人にとってハンガリーは外

国である以上、コミュニティを形成するメンバーの協力は日本におけるそれより何倍も強いはずなのではないかという仮説のもとに、日本人によって開催されている催しを通して、日本人の集団主義と、個人のコミュニティへの執着について研究しています。

ハンガリーでは思ったより多くの、日本人を対象にしている催しがあるようです。一番印象に残ったのは6月のソフトボール大会です。その時は、まるで日本に戻ったような感じでした。まず、応援に来たたくさんの家族と選手たちの団体がラジオ体操をしましたが、その何百人もの大人と子供の一緒に動いている光景は、日本から遠く離れたハンガリーに暮らしている日本人のコミュニティの強さを証明してくれたように思います。それから、ラジオ体操が終わって、ソフトボール大会の試合が始まると、別々のチームに入ってい

る日本人同士が相手の選手たちを敵というより仲のいいお知り合いとして歓迎し、一緒に笑ったり、応援したりしながら、チーム全員をはじめとして周囲の家族も皆盛り上がりが見えました。日本人の集団主義に直接関係しているかどうかはわかりませんが、休憩の時、木の下で同じお弁当を食べるということも、ハンガリーではあまり見られない現象でしょう。

勿論、ソフトボール大会以外にも日本人の集団意識を高める催しがありました。最近、熊本地震で被害を受けた人々のためにブダのある教会で支援コンサートが行われた時にも、演奏者の日本人たちの熱心さや、観客の日本およびハンガリーの日本人コミュニティに対する愛情が十分に伝わってきました。

私は、日本人のいるところではどこでも、人間関係の大切さや団体活動の活発さなどが目に入るという印象を抱いています。私たちハンガリー人も、自分の身近なコミュニティや環境をもう少し大事に思っていれば、ハンガリー社会全体が強くなり、ラジオ体操や給食がなくても人と人の間に新しい絆が生まれてくるでしょう。

(シュトラウス・ヤンカ)

小林研一郎2017年コンサート・スケジュール

2017年の小林コンサートは、5月4日から5月26日まで、ハンガリー各地で開催されます。すでにチケット販売が開始されているコンサートもあり、今年中にほとんどのチケットが売り切れになりますので、早めに各オーケストラあるいはコンサートホールのWEBサイトへアクセスし、チケットを購入してください。

2017年

- 5月4日 ベートーヴェン交響曲6番、7番 ダヌビアオーケストラ、リスト音楽院大ホール
- 5月7日、8日 リスト音楽院学生オーストラ公演、リスト音楽院大ホール
エグモンド序曲、ガランタ舞曲、チャイコフスキー交響曲5番
- 5月11~16日 MÁVオーケストラとの演奏(ベートーヴェンの夕べ)
エグモンド序曲、ヴァイオリン協奏曲(ソロ:カーライ・エルヌー)、交響曲5番
 - 5月11日 MÜPA
 - 5月12日 pesti Vigadó
 - 5月13日 pecsi Kodály Köpont
 - 5月15日 Szegedi Nemzeti Színház
 - 5月16日 Kecskemét Hirös Agóra Kulturális és Ifjúsági Központ
- 5月20日 モーツァルト「レクイエム」(MÁVオーケストラ、国立合唱団) リスト音楽院
- 5月24日、25日 Győr オーケストラとの2回公演(Györi Richter Hall)
チャイコフスキー「弦楽セレナーデ」、リムスキー=コルサク「シェヘラザード」

ハンガリー国立フィル

ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団

Hungarian National Philharmonic Orchestra

指揮
ゾルタン・コチシュ
(ハンガリー国立フィル音楽監督)
Zoltán Kocsis, Music Director

指揮
小林研一郎
(ハンガリー国立フィル/桂冠指揮者)
Ken-ichiro Kobayashi,
Conductor Laureate
© Satoru Mitsuta

小林研一郎&ハンガリー国立フィルによる熱き「幻想」、
松田理奈が謳い上げるメンデルスゾーン

巨匠コチシュの指揮で聴クリスト&ドヴォルザーク
飛躍を続ける若手ピアニスト、牛田智大が登場



牛田智大
(ピアノ)
Tomoharu Ushida, Piano

©Ayako Yamamoto / 衣装提供 株式会社 オンワード樺山



松田理奈
(ヴァイオリン)
Lina Matsuda, Violin

©Shigeto Imura

2016年
10月25日[火] 19:00開演 (18:30開場 終演予定 21:00)
すみだトリフォニーホール JR[錦糸町駅]北口 半蔵門線「錦糸町駅」3番出口 徒歩5分
7:00p.m., Tuesday, October 25, 2016, at Sumida Triphony Hall

リスト:交響詩「レ・プレリュード」
リスト:死の舞踏 牛田智大(ピアノ)

ドヴォルザーク:交響曲第9番ホ短調Op.95「新世界より」

Liszt: Les Préludes
Liszt: Totentanz Tomoharu Ushida, Piano
Dvořák: Symphony No.9 in E minor, Op.95 "From the New World"

10月31日[月] 19:00開演 (18:30開場 終演予定 21:00)
東京芸術劇場 「池袋駅」地下通路 2b出口直結
7:00p.m., Monday, October 31, 2016, at Tokyo Metropolitan Theatre

ブラームス:ハンガリー舞曲 第1番/第6番/第5番
メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調Op.64
松田理奈(ヴァイオリン)

ベルリオーズ:幻想交響曲Op.14a

Brahms: Hungarian Dance No.1, No.6, No.5
Mendelssohn: Violin Concerto in E minor, Op.64 Lina Matsuda, Violin
Berlioz: Symphonie Fantastique Op.14a

5月22日(日) 前売開始

ジャパン・アーツ夢倶楽部会員WEB 5/14(土)・同TEL 5/15(日)
ジャパン・アーツぴあネット会員WEB 5/19(木)

ジャパン・アーツ夢倶楽部会員先行発売などで満席になった席種は、以降販売されない場合がございます。

チケット料金

S¥14,000 A¥11,800 B¥9,700 C¥7,500 D¥5,400
(夢倶楽部会員料金) S¥12,600 A¥10,800 B¥8,700 C¥6,800 D¥4,800 (税込)
※料金には消費税8%が含まれています。※学生・シニア券につきましては裏面をご覧ください。

主催: ジャパン・アーツ 共催: すみだトリフォニーホール [10/25 公演] 後援: 駐日ハンガリー大使館 協力: ユニバーサル ミュージック

お問合せ&お申し込み

ジャパン・アーツぴあ
(03)5774-3040 www.japanarts.co.jp/

チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 [Pコード:296-568(10/25)/296-571(10/31)]
トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212 [10/25公演]
東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 [10/31公演]
イープラス eplus.jp
ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:35105(2公演共通)]
東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650



JAPAN ARTS

第1回ダヌビア・タレンツ国際音楽コンクール inヴァーツ市(Vác, Hungary)開催

桑名 一恵

9月上旬に5年に一度行われる世界的に有名なフェレンツ・リスト国際ピアノコンクールの熱気も冷めやらぬ中9月下旬にはハンガリーの首都ブダペストから北へ35kmに位置するドナウ川沿いに佇む街ヴァーツ市で初めての国際音楽コンクールが開催されました。その名もダヌビア・タレント国際音楽コンクール。ドナウ河のせせらぎと共に日々を歩んでいるヴァーツ市ならではの名称です。初回コンクールカテゴリーはソロピアノ・4手ピアノ・室内楽とピアノを中心としたものとなり、世界各国から15校の音楽院・音楽大学・音楽学校からの在學生・出身者など、総勢100名以上のピアニストの応募があり、12か国の出場者達がヴァーツ市に集結しました。内訳はハンガリー国内70%、国外30%(日本、ロ

シア、モルドバ、スロヴァキア、クロアチア、ポーランド、ベトナム、イタリア、韓国、オランダ、アメリカ)。国内外のコンサート出演の副賞なども授与され、初回のコンクールとしては成功したと主催側も評価しています。その中でも今回審査委員長として、日本を中心に国内外と積極的に活動されています日本人ピアニストの赤松林太郎氏が任命されていたことは、これからの両国が音楽を通しての国際交流の意味を大きく・深いものとして繋げていくきっかけとなったのではないかと感じました。同氏はハンガリーとの繋がりも多く、今回審査委員長に抜擢されたことにコメントも頂きました。誠に感謝しております。主催者そして審査員として携わっていたハンガリー人ピアニストそして現在ブダペスト9区音楽学校

ピアノ科学科長のキシュ・ユリアンナ先生からもコメントを頂きましたので掲載させていただきます。

赤松 林太郎(あかまつ・りんたろう=洗足学園大学客員教授)コメント

2016年9月28日~30日の会期で、ダヌビア・タレンツ国際音楽コンクールが開催された。初回にもかかわらず、この美しい街ヴァーツには、ハンガリーのみならず、近隣諸国(オーストリア、スロヴァキア、クロアチア、ポーランド)をはじめ、日本や韓国から百名におよぶ参加者が集い、それぞれに熱演を繰り広げた。

このコンクールを提唱されたキシュ・ユリアンナ先生とは、私が毎春ブダペストで主催しているマスタークラス(リスト音楽院

共催)をとおして交流が続いており、今回のコンクール開催にあたって、審査員長を任される経緯となった。パーゼル音楽大学からヤン・シュルツ教授が招かれ、ユリアンナ先生をはじめ、室内楽のコースではハンガリー人の演奏家も審査に加わった。

生年によってAからEまでのカテゴリーに分かれており、Eカテゴリーは年齢の上限を持たないプロフェッショナルなコースとなっている。自由なプログラムによる30分のリサイタルでは、演奏家の個性がよく見える。それぞれが得意とするものをアピールすることで、私たちはその個人を知ることができる一方、彼らの演奏家としての資質や課題の多くを見出す。審査員の仕事は演奏家の良し悪しを点数に表していくことだが、統一した見解はなかなか得られず、今回のコンクールでは各級が終わるたびに、審査会議は紛糾して、英語・ドイツ語・ハンガリー語が大声で飛び交った。もともと、これは私たちが音楽に対して熱い思いを抱いている何よりの証で、私たちはヴァーツで多くのすばらしい才能の原石を見つけることができた。

とりわけ2000~2004年生まれ(B・Cカテゴリー)の才能の豊かさに驚かされた。審査後に若いコンペティターと話して、演奏や解釈をめぐる音楽観について尋ねたのだが、彼らは思考と洞察の深さを表現するだけの語彙と話法を持ち合わせ、そのためにどういった技術が必要かということ冷静にとらえることができていた。ヨーロッパの若者たちが日本人の年代と決定的に異なるものは何か。私を含めて、日本人の教育にあたる姿勢を問われているような気がした。

Eカテゴリーで満場一致の第1位を獲得したWon Hyun Jungは、イギリス王立音楽アカデミーを卒業後、ミシガン州立大学で博士課程を修めている秀英。ハンガリー国内とローマでのリサイタルが与えられた。同じくEカテゴリーで第1位を受賞した杉元太は、ポーランドで名教授ピョートル・パレチニに師事し、ヴァーツで協奏曲を演奏する権利をした。

特筆すべきはCカテゴリーで満場一致



の第1位を得たペクニック・ミア。彼女はすでにクロアチア国内で多くのコンクールで結果を残しており、その音楽観はプロフェッショナルな技術と豊かな感性によって完成されている。来年3月にブダペストで開催を予定している受賞者コンサートにも招聘を考えている。

このようなコンクールはイタリアやフランスに多いものの、東ヨーロッパでは数えるほどしかないため、若いピアニストたちにとっては大変意義のあるコンクールに位置づけられていくだろう。来年度開催の成功も心より祈念したい。

キシュ・ユリアンナ先生(審査員及びコンクール実行委員)コメント

コンクール前に申し込み情報から、このコンクールはハイレベルなものとして第一回目を迎える事ができると確信しております。最終日に行われた授賞式及びガラコンサート後、主催者だけでなく今回携わって頂いた各国の審査委員の皆さんが、この企画と可能性に次回も企画するべきだと強く賛同して頂きました。第1回目が終わった今、すでに来年度に向けての企画がスタートしており、今回よりも更に良いものをする事と同時にしっかりと形になりますように進めていけたらと考えています。まだ企

画段階ではありますが他の楽器のカテゴリーも設置する予定としています。

主催者側は、第1回審査委員長として赤松 林太郎氏へ依頼した事に感謝の意を表しています。彼は審査員長として素晴らしい仕事をやり遂げてくれました。更に審査員長としてだけでなくピアニストとしても一人の音楽を志す人間としても彼に任せて正解だったと感じています。私たちは次回も同様に彼を審査員長として引き続き迎えたいと強く願っており、彼との話し合いやアドヴァイスを元に次回のコンクール実現に向けていく方針です。今回のコンクール全体にかかった経費は参加料全額から会場費・広告費・ピアノレンタル費・賞状やトロフィー費・審査員料などが全て賄う事が出来ましたが、次回の目標の一つとして数多くのスポンサーの皆様にお声がけさせて頂き、この国際コンクール企画へサポートして頂けるよう積極的に活動していきたいと考えています。

(くわな・かずえ)



フジコ・ヘミング — ヨーロッパツアー・ハンガリー公演

桑名 一恵

年間通して世界中で演奏を行っているフジコ・ヘミングさん。今年もヨーロッパツアースケジュールにハンガリー公演を組み入れ、9月26日にリスト音楽院大ホールにてコンサートが開催された。今年で3年連続となるハンガリー公演は、長年の友好交流から信頼し合えるマーヴ(MÁV)交響楽団と、隣国スロバキアよりスロバキア放送交響楽団常任指揮者のコシク・マリオ氏を迎えての公演となった。

彼女は1999年2月に日本のテレビを通して壮絶な人生が人々の心を掴み一夜で有名になったが、中でもブームを巻き起こしたのがハンガリーを代表する作曲家F.リスト作曲の「ラ・カンパネラ」だった。彼女のデビューCDでもあった『奇蹟のカンパネラ』は、クラシック界で異例の200万枚以上の売上を記録した位だ。遅咲きのピアニストとはいうもの彼女のピアノ人生は既に幼少のころからすでに開花し、世界中のピアノコンクールも多数受賞されている。



今回の会場にもなったリスト音楽院は、まさにリスト一色。大いなる作曲家F.リストのいるハンガリーでの演奏はヘミング氏にとって特別であった。昨年、リスト音楽院大ホールのステージで演奏を披露した彼女は演奏会前からリストへの特別な想いを強く持ち、この公演の実現を願っていた。コンサート当日も前半のソロプログラム終了後、舞台袖に戻ってきた瞬間の氏は、「今までにない不思議な感覚に陥った。パワーを感じたわ」と話してくれた。それを聞いた瞬間、彼女がどれ程までに、このステージで演奏を願っていたのかを全て感じ取る事が出来た。人が何かに対して特別な想いや感情を表すことが、こんなに素晴らしい結果をもたらすという現場に居合わせて頂けたというのは本当に幸せであったし、色々な意味で不可能を可能にし、神がかっていくところまで引き上げてくれるのかと、鳥肌が立った。そして今回の前半のソロプログラムでは、また違った一面を

魅せてくれた。

ヘミングさんは、舞台に出てピアノまでの距離をゆっくり進む。ステージから全ての聴衆を見渡しながら進む姿は、まるで会場全体と、これからの時間を共有する事の大切さを聴衆の皆さんに向けてメッセージを送っているともいえる行動に見えた。拍手が止み会場全体の視線がステージの中心に座る彼女に集まる。ここからが皆さんを虜にしていくフジコワールドの始まりだった。現代のピアニストのスタイルやテンポ設定とは異なり、まさに彼女人生そのものが映し出されるような演奏形態は、一音一

音と進行していく度にピアノの音で描かれる世界に引き込まれて行ってしまふ。ちょっとした魔法をかけられているようだった。彼女の演奏は曲のテンポ設定なども含めて独特な枠に入ると思われるが、とにかく個々の音・音色に対する表現が豊富だ。かわいらしいものもあれば、時々切なくなるような音色、力強さ・重さと言うよりは大地に根を張っている強さの方が表現としては正解ではないであろうか。決して急がない心穏やかな演奏に、涙されている方も見受けられた位、聴衆としても不思議な感覚である。

ソロが終わり、マーヴ(MÁV)交響楽団、コシク・マリオ氏とのモーツァルト「ピアノ協奏曲21番」が始まった。この作品はモーツァルトのピアノ協奏曲の中でも人気が高い作品の一つでもあり、幸福に満ちた曲でもある。指揮者とは数回本番を共にした間柄で互いの信頼関係も高かった。そこにマーヴ交響楽団の高いアンサンブル技術が

加えられ、素晴らしいハーモニーが奏でられていた。

最後にヘミングさんは、冒頭でも記載したF.リスト作曲の「ラ・カンパネラ」を披露した。

アンコールというものは当日プログラムに記載されないのが本来な訳だが、本人たつての希望で、記載しての演奏となった。ハンガリー国内では当然ながらヘミングさんがどのように、どのようなきっかけで有名になったなんて知っている人はいないだろう。ただただ彼女の演奏を目当てに会場に足を運ぶ。今回はハンガリー国営テレビの協力で、このコンサートのCMが10日前から流れていた。後で聞けば、多くの方の目に留まっていたようだ。2日前にはリスト音楽院から目と鼻の先の場所で爆発事故が発生し、その日はリハーサル日だったが、リスト音楽院周辺は立ち入り禁止区域となり、コンサート当日は付近が警備強化などと、コンサート開始までの2日間の時間は緊張感の漂った日々だった。

一時はコンサートが開催できないのではという声もあり、とにかく爆発事件の解決を願った。幸いコンサートは開催できるということで、通常通りのゲネプロも予定通りに進み、辺りも交通規制も解除になりコンサートを迎えることが出来た。チケット販売は完売と嬉しい知らせが数日前に出たが、この事故の影響が出る可能性もあり、コンサート開始まで不安がよぎったが、このような状況でも多くの方が来場してくれたことに感謝したい。本当に良い雰囲気の中でコンサートが終了できたこと、コンサート中に事故がなかったことは、多くの方々のサポートがあったからこそである。

フジコ・ヘミングさんのコンサートは来年度も企画をされると思う。是非、実現して頂きたいと思う。そして、ハンガリーの皆さんや、在留邦人の皆さんの前で素敵な演奏を披露して頂ける事を願うばかりである。

(くわな・かずえ Propart Bt. 代表)



Propart Hungary Bt.

各種音楽・芸術文化・国際交流イベント企画製作を中心とした業務の運営。
ハンガリーを拠点にグローバルな企画・マネージメント展開を行っています。
お気軽に、御相談下さい。

【主な業務内容】

- ・音楽企画・マネージメント業務
- ・ヨーロッパ各国のコンサート / オペラ・バレエ・オペレッタ・舞踊・各劇場公演
- ・音楽講習会 / プライベートレッスン / 音楽研修企画
- ・国際交流事業サポート
- ・若手音楽家の推進育成サポート
- ・東欧・ハンガリー留学サポート・現地コーディネート
- ・短・長期賃貸物件仲介業務(ブダペスト市内を中心とした、ハンガリー国内)
- ・各種通訳・翻訳サポート(ハンガリー語、英語、ドイツ語、日本語)
- ・購入・レンタルピアノ
- ・輸入・輸出楽器
- ・各種現地サポート(主にハンガリー、東欧、ヨーロッパ各国)
- ・文化・芸術関係テレビ取材・撮影・リサーチ・コーディネート等
- ・ハンガリー発日本語情報誌『パブリカ通信』発行
- ・その他、音楽制作に関わる一切の業務

Propart Hungary Bt.

Tel: +36-1-786-7846 / Mobil: +36-70-3815548

e-mail: proparthungary@upcmail.hu

proparthungary@gmail.com

web: <http://propart.client.jp/>

Propart Bt.はフジコ・コンサートを企画・組織しています

境界から見た風景（1）

Pusztai Beáta

みなさんは「今の私って、誰なのだろうか？昨日の私とは違うのだろうか？」「今、何処に立っているのだろうか？これから何処へいくのだろうか？」「今のままで良いのだろうか？」などの疑問を自分に尋ねたい気分になったことがおありでしょうか。さらに、その質問にはっきりと答えられなかったことはおありでしょうか。そんな時、あなたはいわゆる「境界の存在」だったのかもしれない。

日本のアニメーションにおける「境界の存在」について考察したいと思います。まず、「境界の存在」の意味、次に世界の映画と日本のアニメーションにおける「境界の存在」の分類、最後に宮崎 駿監督が制作した、『千尋と千の神隠し(2001年)』と『ハウルの動く城(2004年)』の映画の比較による分析を通して、その境界の存在が示している現実の社会問題について述べます。

さて、「境界の存在」とは一体何のことでしょうか？

まず、先行研究をまとめてみましょう。

メアリー・ダグラスの名作、『汚穢と禁忌』(1963年)によると、此の世の中、及び人間が感じ取る世界は全て、複数の純粋ではっきりとした文化的なカテゴリによって成立しているそうです。そして、カテゴリとカテゴリの間に引かれた境界を越えようとする行為が禁じられています。

しかし、そんなに厳密な構造はこの矛盾だらけで複雑な世の中ではありえないはず。そこで、ダグラスは、境界への接触が可能だと認める上、その境界に接触している状態は、如何に「汚れた」状態であろうとも、人生の中で自然な状態であって、一時的なことに過ぎないとも論じています。この状態を「トランスグレーション」というそうです。

ノエル・キャロルは『ホラーの哲学』(1990年)という書籍で、ダグラスの議論をもとに、「汚れた人または物とは、カテゴリとカテゴリの間に存在している人または物か、二つ以上の矛盾しているカテゴリに同時に存在している人または物か、もしくは、不完全か無定形の人または物のことだ」という定義を定めました。つまり、人や物が抱えているその汚れがもし簡単に清められない状態だったとしたら、その人や物こそが「境界の存在」であるのでしょう。

そういった汚れを清める為に、昔から様々な社会的・宗教的な儀式が行われています。何故なら、汚れを清めることを通して無事に一つのカテゴリから次のカテゴリに移動出来ることが、個人の為に社会的な為に非常に大切だからだそうです。日本で言うなら、例えば、宮参りという慣習では、赤ん坊をあゝ世から切り離して出産の汚れを清めたり、成人式では若者に大人の意識を与えたりすることによって、カテゴリとカテゴリの間に昔から引かれている

境界が強化されます。

次に、境界のキャラクターを分類してみましょう。実は、こういったキャラクターは現在世界中のホラー・ファンタジー・SFなどで大人気のモチーフで、実写映画・漫画・アニメーションなどによく登場します。例えば、『ブレードランナー』(リドリー・スコット監督、1982年)や『ロボコップ』(ポール・バーホーベン監督、1987年)や『アンドリューNDR114』(クリス・コロバス監督、1999年)など、「魂を持つロボット」を主人公とする世界の実写映画が有名ですが、とくに、日本のアニメーションの世界には境界のキャラクターが大勢見



られます。

例えば、次のようなキャラクターが境界にいると考えられます。

①人間と動物・怪物の間:『おおかみこどもの雨と雪』(細田 守監督、2012年)に出てくる狼人間の姉弟

②人間と植物の間:『パプリカ』(今 敏監督、2006年)に出てくる悪者の1人

③人間と機械・人形の間:日本最初のテレビアニメシリーズ『鉄腕アトム』(手塚 治虫監督、1963年)や、カルト映画『攻殻機動隊』(押井 守監督、1995年)や、『ベクシル 2077日本鎖国』(曾利 文彦監督、2007年)の主人公

④人間と妖怪・神の間:『犬夜叉』(池田 成監督、2000～2004年)の三角関係の恋人達

⑤此の世とあの世の間:『シャーマンキング』(水島 精二監督、2001～2002年)の様々なシャーマン達

⑥現実と幻想の間:『パプリカ』の主人公や『となりのトトロ』(宮崎 駿監督、1988年)の可愛い怪物達や、『劇場版ハートの国のアリス～Wonderful Wonder World～』(大庭 秀昭監督、2011年)の全キャスト

⑦現代と過去の間:『犬夜叉』の三角関係

⑧男と女の間:ほとんどの妖怪と神様や、『夏目友人帳』(大森 貴弘監督、2008年)の夏目貴志とレイコ

⑨子供と大人の間:『おもひでぼろぼろ』(高畑 勲監督、1991年)の主人公や、『劇場版ハートの国のアリス』のアリスと乱暴な双子

⑩「エゴ(私)」と「アルター(他)」・分身・ドッペルゲンガーの間:『ちよびっつ』(浅香 守生監督、2002年)の双子のちいとフレイヤや、『パプリカ』の千葉 敦子とその分身、パプリカとの関係など
このように、境界の存在を並べ上げてみると、リストから四つの興味深い点が現れました。第一に、境界の存在には色々な種類があるということです。第二に、境界のキャラクターは必ずしもファンタジーの登場人物ではないということです。第三に、境界の存在は必ずしも危険なモンスターではないということです。第四に、境界の存在の多くは、何らかの社会問題に関する不安を表現しているということです。

さて、以上の点から、次稿では、宮崎 駿が監督した二つの名作、『千尋と千の神隠し(2001年)』と『ハウルの動く城(2004年)』を比べて分析してみます。

(プスタ・ベアータ)

ドナウの四季

編集部よりのお知らせ

「ドナウの四季」のHPが完成しました。これまで掲載されたすべての原稿を読むことができます。 <http://www.danube4seasons.com>

皆様の原稿をお待ちしています。エッセイ、ハンガリー履歴書、自己紹介、サークル紹介などの記事をお寄せください。提出いただいた原稿は、紙面統一の編集のために修正することがあります。修正した原稿は執筆者の校正をお願いしています。

原稿は電子ファイルで、morita.magyar@gmail.comへお送りください。Word文書あるいは一太郎文書でお願いします。EXCEL形式での提出はお控えください。写真および図形は別ファイルで送付ください。

さくら DESIGN

CI、広告、ロゴ、ホームページ等
名刺1枚からご希望の言語にて
デザイン致します。

各種パッケージ、インテリアのデザイン、
内装工事、翻訳から印刷まで
幅広く受け承っております。
お気軽にお問い合わせ下さい。



SAKURA DESIGN: info@innerdesign.hu
Inner Design Group · 1021 Budapest, Bognár utca 7.
Mobile: 06 20 480 4431

www.innerdesign.hu

日本人学校

紅組団長として

中学部3年 野村 遥

私は、平成28年度ブダペスト日本人学校ふれあい大運動会の紅組団長を務めさせていただきました。昨年度は、最高学年が2年生で、団長の大変さを間近で見えてきたので、団長をやることは、とても不安でした。ですが、その不安はすぐなくなりました。7月初旬に紅白に分かれて、応援の振りや応援旗デザインを考える時間がありました。その第1回目から、「団長は両方の進み方を見てくれれば、細かいことは、紅組の自分たちが、やるから。」と言ってくれました。「応援団長一人に任せきりにすることはしない。」この力強い言葉に元気づけられました。言葉通り、応援の言

葉や振り付けをみんなで考え、どんどん進めてくれました。また、応援団旗のデザインのアイデアも積極的に提案してくれました。2学期が始まり、いよいよ小学部も加えた全員での練習となりました。小学部1・2年生もいるので、ゆっくり丁寧に教えようと心がけました。また全体練習こそ団長の頑張りどころという気持ちで、喉がかわるまで大きな声を出し、引っ張りました。練習を重ねる度に団長としての意識も高まりました。

そうして迎えた運動会当日、私たちの気持ちをわかってきているかのように晴れあがっていました。最初の選手宣誓は大きな声で堂

々とできました。応援合戦でも、自分の力を思う存分発揮することができました。閉会式の結果発表で、「紅組優勝」と呼ばれ時は、運動会の中で一番の喜びを感じることができました。終わった時は達成感一杯でした。今回、団長をやって本当によかったと思います。困った時に助けてくれた友達、私を支えてくれたみんなに感謝しています。この気持ちで次のドナウ祭りへ向かえたらと思っています。次は自分が友達を支えられたらいいと考えています。

(のむら・はるか)

白組団長として

中学部3年 児玉 一晃

私は、平成28年度ブダペスト日本人学校ふれあい大運動会の紅組団長を務めさせていただきました。

私は、この役目をさせていただき、人をまとめる力がついたと思います。これは、今までの自分に足りなかった力であり、今回、応援団長をやって、本当によかったと思えることでした。まとめる力がついたと思える理由は、二つあります。一つは、準備の時に中学部のみんなに声をかけ、応援の形決め、応援の振りなどを予定通り進めることができたということです。従来の決まったフレーズの中に自分の考えた

アイデアを盛り込むことができ、自分が引っ張っているという実感を持つことができました。当初は、応援団長という大きな仕事をすること、少し不安でした。この一学期の準備の段階で自信が持てるようになりました。

二つ目は、運動会前の2学期になってからの練習です。2学期が始まり、ここで大切なのは、小学部をまとめなければならないことでした。僕が、しっかり声を出せば、みんながついてきてくれると思ったので、できる限り大きな声を出すよう心掛けました。また自分たちで考えた振りであったので、まず自分がすべてをマ

スターしていなければいけないと考え、振りをすべて頭に叩き込みました。この努力の甲斐があって、小学部の子たちが自分を信頼し、よく指示を聞いて動いてくれました。すごく手応えを感じました。団長の仕事を通して自分が成長できたと思いました。そして迎えた運動会は大成功でした。これは、自分一人の力でできたわけではなく、友達、先生方の支えがあったからです。本当にありがとうございました。今回得た力を今後に生かしていきたいと思えます。

(こだま・かずあき)



みどりの丘補習校



ふれあい大運動会への参加

～生徒感想のまとめ～

9月4日(日)、ブダペスト日本人学校のふれあい大運動会に招待頂き参加しました。



選手宣誓やラジオ体操など日本の運動会ならではの開会式の後、パン食い競争や短距離走など個人で頑張るものや、日本人学校のみんなと協力して点を入れる綱引きや玉入れ、補習校として戦ったりリレーなど様々な競技に参加しました。また、日本人学校の応援合戦や民舞など素晴らしい演技にも声援を送っていました。

今年の勝負の結果は、紅組優勝、白組準優勝。勝って飛び上がって喜んでいたり来年こそは悔しそうな子の日に焼けた顔が印象的でした。ハンガリーに住んでいるとなかなか体験できない日本の行事ですが、今日は貴重な経験ができた一日でした。また来年も参加したいという意見が多かったです。このように年に一度でも日本人学校の生徒の皆さんや保護者の皆さん、在住者の皆さんと共に普段現地校やインターに通っている生徒にとって普段通っている学校では味わえない行事に参加できるという事は大変貴重なものであり、補習校側としても経験させてあげられるものとして今後も参加させて頂きたく思います。本当にありがとうございました。

運動会の前日から日本人学校の皆さんと一緒に運動会に参加できる事を、とても楽しみにしていました。ハンガリーの学校では運動会という行事がありません。みんなで玉入れやリレー、つな引きなどをして、緊張もしたけど、とても楽しかったです。

【パン食い競争】

・1番にゴールして、とても誇らしく思いました。
・手を使わずに口だけでパンを取らなければいけないところが面白かったです。

【玉入れ】

・たくさん入るように、たくさんジャンプをしました。でも私の組は負けてしまったので、来年はもっと多くの玉が入るようにしたいので、もっと高く飛べるようにジャンプの練習をしたいと思います。
・たくさん入れることが出来て、すごく嬉しかったです。

【50m走・リレー】

・1位でゴールをした時にゴールテープに向かってゴールを切ったことが不思議な感じがしました。
・私のお父さんがリレーに出ていて、お父さんが走るのが早いって事を初めて知りました。
・あんまり速くはなかったけど、すごく楽しかったです。

【つな引き】

・けっこう力持ちだから勝てる自身があったのですが負けてしまいました。

【お弁当当】

・お弁当をみんなで食べるのが、とっても楽しくて好きです。
・みんなで食べるってこんなに美味しいんだって思いました。
・お母さんのお弁当は、すごく美味しかったです。

日本人学校の皆さんがダンスなどを披露してくれて、きっとみんなはたくさんの時間をかけて練習した成果だと感じました。素晴らしかったです。みんな動きがあっていて、かっこよかったです。



在ハンガリー日本商工会主催
秋季ソフトボール大会結果

- 1) 日時: 2016年9月24日(土) 9:00 ~ 15:30
- 2) 場所: American International School of Budapest
- 3) 参加: 11チーム 216人
- 4) 順位: 優勝 デンソーAチーム
準優勝 日本大使館・日本人学校 チーム
3位 笑好会Cチーム
4位 Mスズキ・伊藤忠・菱和Aチーム



コロナイが綴る 20 世紀中欧の歴史証言

池田信夫「21世紀最初の10年ベスト経済書」第2位にランク
「週刊ダイヤモンド」2006年ベスト経済書第9位にランクイン

コロナイ・ヤーノシュ自伝

—思索する力を得てコロナイ・ヤーノシュ【著】 盛田常夫【訳】

◆好評発売中! ◆定価 4935 円(税込) ◆A5判/ISBN 4-535-55473-0 日本評論社

体制転換 の経済学

黄色の教科書シリーズで知られる専門学部の定番テキスト。体制転換の理論と転換直後の現状を分析。各大学で教科書として使用。

盛田常夫著

第一部 社会主義経済の失敗

社会主義崩壊をもたらした社会的退化への論理を構築。交換経済と再分配経済の比較分析に新たな視点を提供。

第二部 ポスト社会主義経済

体制転換の過渡期の問題をすべて取り上げ、解決の道筋を示す。地域による体制転換の違いを解明。

■新世社 新経済学ライブラリー20 定価2781円(税込)



なぜハンガリーは独創的な科学者を輩出したのか

20 世紀を創ったハンガリー人 マルクス・ジョルジュ【著】 盛田常夫【編訳】

■定価 3045 円(税込) A5判

■ISBN 4-535-78331-4

異星人伝説

「週刊文春」(米原万里)、「週刊ダイヤモンド」(北村伸行一橋大学教授)で書評。

ハンガリーは 20 世紀の科学の発展に貢献した多くの頭脳を輩出した。大きな足跡を残した科学者たちの評伝。



体制転換20年の歴史的・理論的総括の書

ポスト社会主義の政治経済学

体制転換20年のハンガリー:旧体制の変化と継続

新しい概念を駆使して、体制転換以後の中欧社会の状況を分析。

日本経済新聞(2010年3月21日)ほか、多数の書評。

旧来の定説を覆し、新たな知見を広める革新の書。

盛田 常夫著 日本評論社 定価3800円



編集部よりのお知らせ



「ドナウの四季」のHPが完成しました。これまで掲載されたすべての原稿を読むことができます。
<http://www.danube4seasons.com>

皆様の原稿をお待ちしています。エッセイ、ハンガリー履歴書、自己紹介、サークル紹介などの記事をお寄せください。提出いただいた原稿は、紙面統一の編集のために修正することがあります。修正した原稿は執筆者の校正をお願いしています。

原稿は電子ファイルで、morita.magyar@gmail.comへお送りください。Word文書あるいは一太郎文書をお願いします。EXCEL形式での提出はお控えください。写真および図形は別ファイルで送付ください。